栄養管理室

主任　相原 亮介

■ **相原 亮介　主任**

■ **菅井 遙　副主任**

日本病態栄養学会

■ **内川 真佑**

診療科の紹介

栄養管理室は東海大学大磯病院から事業継承した当初,同じ徳洲会グループの異なる病院から異動してきた管理栄養士2名のみという,極めて少数の組織形態で運営を開始した.その後,2024年4月に待望の新入職員を迎え入れることができ,現在は管理栄養士3名体制で毎日の業務にあたっている.

病院側の管理栄養士は主に「栄養管理計画書の作成」「入院・外来栄養指導」「退院支援カンファレンスへの出席」など,臨床面で患者さんの栄養管理を担当し,日々実施している.

毎日の食事提供は給食会社に外部委託をしている.委託業務内容は院内約束食事箋のみ当院で作成し,それを遵守した献立作成から,発注・納品・検品作業,調理作業,洗浄作業など,すべての給食業務を委託している.

職員食堂の運営も委託給食会社に委託しており,職員の福利厚生に貢献していただいている.

今後も委託給食会社との二人三脚で入院患者さんに対しての良好な栄養管理に寄与する所存である.

活動状況

「他職種連携」というキーワードが重要と言われて久しく,栄養管理室としても自分たちの部署内だけで完結できる業務は少ないという認識を持って,日々業務にあたっている.

医師,看護師,他のコメディカルスタッフ,事務方など,院内すべての部署と良好な協力体制を築いていくことが肝要だと考える.

一例として,毎週開催される各診療科のカンファレンスに積極的に出席し,どうすれば患者さんが1日でも早く希望の場所へ退院できるかを栄養面から検討し,治療の一助となるよう努めている.

また,主たる業務である栄養指導については,患者さんから希望がある場合や主治医から必要と判断されて依頼がある場合等,依頼をいただく背景には様々あるが,予約外の当日受付や午後からの時間帯でもなるべく断ることがないように,できる限り柔軟な対応にて,要望に応えることができるように努めてきた.

その結果として,グループから与えられた指導件数目標を上回る実績を積み上げることができたのではないかと考える.

栄養指導に関しては,単に件数を増やすだけではなく,指導内容の質を担保するためにも,可能な限り業務時間内で時間を作り,部署内で振り返りや検討会を実施することもある.

徳洲会グループの理念と,理念の実行方法にある通り、「医療技術・診療態度の向上にたえず努力する」という文言を疎かにしないよう努めている.

HCUにおける早期栄養介入管理加算も算定している.HCUに入室されてから,48時間以内に経腸栄養を開始し,患者さんが低栄養になるのを予防できるように医師,看護師,その他コメディカル職員と連携している.

また,どんなに栄養の専門知識を駆使し,患者さんへ分かりやすく伝え,理解を得られたとしても、肝心の病院食の喫食量が担保されない限りは栄養状態の改善に繋がらないため,委託給食会社と定期的にミーティングを実施し、喫食量を増やすための献立改善に共に 取り組んでいる.

今後も栄養管理室のすべての活動が患者さんの栄養状態改善に繋がるように継続していきたい.

展　望

当院ではこれまでNST（栄養サポートチーム）を稼働させることができておらず,稼働に向けて準備を進めている.

今後は院内でNST活動の周知を進めていき,対象患者がいる場合は確実にNSTでフォローし,入院中の低栄養状態を予防・改善することに寄与するとともに,職員にもNST活動へ興味を持ってもらうことで,病院全体として栄養管理業務そのものを今よりもさらに盛り上げていきたい.

　また,病院食の献立も現状維持とする訳ではなく,委託給食会社との関係性を良好に保ちながら,絶えず修正と改善を加えていき,入院患者さんの喫食率向上と栄養状態の改善に繋がるように取り組んでいきたい.

診療実績

個別栄養指導件数・・・・・・793件/年

患者食数・・・・・・・・139,272食/年

（月平均　11,606食）

職員食堂・・・・・・・・36,876食/年

（月平均　3,073食）

栄養管理計画書作成枚数　8,873件/年

学術業績

なし